



千鳥の丘に



交流学習の集大成

校長 横山 美智子

千鳥丘小学校、最後の夏休みが終わりました。今年の夏はこれまでにない暑さで、猛暑を超えた酷暑となりました。夏休み中、何度か校区内を車で回りましたが、児童の姿を見かけることはありませんでした。今年度は、暑さ対策や働き方改革等を考慮し、プール開放を中止し、登校日を全校で1回のみとしました。「プール開放を予定していたが、実際に開放できたのは1回だけだった」「登校日は設けなかった」など、他校でも試行錯誤の夏休みだったようです。安全な夏休みの過ごし方等については今後も検討が必要です。ただ、非常に暑い夏休みではありましたが、大きな事故やけがもなく、千鳥っ子全員が2学期を元気に迎えられたことは、本当にうれしい限りです。

2学期が始まり、暦の上では秋だというのに、9月後半になっても、連日30℃を超える日が続いています。そんな暑い中ではありましたが、5年生は9月7日、8日に一泊二日で、五位小学校5年生と砺波青少年自然の家で合同宿泊学習を行いました。一日目は、千鳥丘小と五位小が一つのグループになって「イニシアティブゲーム」「砺波の森探検」「砺波んピック」「キャンドルサービス」と多様な活動に取り組みました。どの活動でも、互いに知恵を出し合い、心と力を合わせて取り組む姿が大変頼もしかったです。二日目は、学校毎に分かれて「野外炊飯」を行いました。子供たちは、「かまど係」「ご飯係」「カレー係」に分かれてカレー作りに挑戦しました。子供たち一人一人が自分の係に責任をもって取り組む姿は輝いていました。完成したカレーライスを食べた子供たちからは、「今までで一番おいしい」との感想が聞かれました。二日間の合同宿泊学習を通して、互いに協力し、助け合い、励まし合って活動する姿がたくさん見られました。来年の4月に統合する新五位小学校の最高学年として活動する姿が今から楽しみです。

それぞれの学年でも、2年前から内容や場を工夫し、時間をかけて重ねたきた五位小、千鳥丘小の交流がいよいよ集大成を迎えようとしています。2学期も引き続き、学校、保護者、地域の皆様、そして五位小とのつながりを大切に、千鳥っ子が実りある学校生活を送れるよう教職員一同、全力で支えてまいります。ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

